

学校関係者評価委員会

令和5年度第1回委員会 議事録

1. 日時および場所

日時：2023（令和5）年10月10日(火) 18:00～19:45

場所：修成建設専門学校 146 教室

2. 出席者（順不同、敬称略）

委員

藤田 晴樹、市岡 武、相賀 勝、大槻 憲章、大和 正、壺山 和憲、丸山 徹 （計7名）

田中 文雄（欠席）

学校（オブザーバー）

山下裕貴（理事長）、堤下隆司（校長・ガーデンデザイン学科科長）、見邨佳朗（副校長・建築CGデザイン学科科長）、谷川博康（学生相談室室長）、角野峰生（建築科科長）、稲原泰裕（夜間建築学科副科長）、鍵谷啓太（空間デザイン学科科長）、山本順也（住環境リノベーション学科科長）、野瀬孝男（土木工学・建設エンジニア学科科長）、釜友知與子（専科2級建築士科科長）、廣辻雄之（専科1級建築士科科長）、亀井哲男（経営戦略室室長）、藤本喜代志（広報部長代理）、塩田久及（事務局長）（計13名）

（参加者合計20名）

4. 議事次第

1. 開会挨拶

委員長（藤田）挨拶

オブザーバー代表（山下）挨拶

2. 委員紹介 新任委員2名 市岡委員 壺山委員

3. 議事内容説明

令和4年度 学校自己評価報告書について

4. 議案

令和4年度学校関係者評価委員会評価報告書について

その他

☐各学科長より2022年度課程修了の評価報告がなされた。

■質疑応答

藤田委員 建築学科の進学率の高さを評価

内部進学以外の進路について聞かせて欲しい。

→大学進学 留学生が国公立大学に合格している。

インターンシップの現状について聞かせて欲しい。

→コロナ禍で低調であったが現在では復調している。

市岡委員 建築学科において施工分野への進路が多い理由で考えられることは何か。

→賃金が高い、進路決定を早くしたいなどが挙げられる。

→設計志望の学生は専科進学傾向にある。

大槻委員 建築学科 希望通りの職種につけているか。

→概ねそうである

相賀委員 首都圏の大学進学率が向上したようである。

高校生のものづくり熱が下がっていることを懸念している。

万博後の建設業界の景気が懸念される。

大和委員 実業学校の進路決定に不安を覚える。

(大阪府下の工業高校の併合されていることより)

修成建設専門学校の頑張りに期待している。

→建設企業とのむすびつきが固いことが強みである。

☐ 学生支援 塩田事務局長

☐ 学生の募集と受け入れ 藤本広報部長代理

☐ 財務 山下理事長

☐ 法令等の遵守 谷川学生相談室室長

☐ 社会貢献・国際交流 亀井経営戦略室室長

より自己評価報告書に基づいて説明を行った。

■質疑応答

丸山委員 PC 購入が必須であるが詳細を聞きたい

→学内で導入に関する委員会を立ち上げた。

3 種類のスペックに分類しシミュレーション化が可能とした。

OS は Windows とし、Mac は推奨していない。

壺山委員 ドローン、使用用途はどのように考えているのか。

→使用用途は限定せずドローンが扱えることを重視しており、2級操縦士を目標としている。

壺山委員 ドローン取得については今後必須であり、今から実行することは大変有効である。

藤田委員 学生相談について詳細を聞きたい。

→同じ学生が複数回来室する傾向にあった。

→常設のカウンセラーがいることが強みである。

→問題解決に時間がかかるので、来室回数は増えている。

市岡委員 施工分野の進路分けについて、施工と管理が一体となった目標設定として欲しい。

→検討する。

藤田委員 令和5年度の建築士合格率について聞かせて欲しい。

→専科2級建築士の学科合格率 91.3%（全国合格率 35.0%）

→専科1級建築士の学科合格率 60.0%（全国合格率 16.2%）

相賀委員 修友会への協力依頼があった。

□堤下校長より

学校自己評価報告書採点用紙の記入と、下部にあるご意見の記入をお願いとした。

QRコードを読み取り、インターネットからまたは、FAXでの提出をなるべく早めをお願いしたい。

□学校からの案内

山下理事長 大専各外国人留学生採用フォーラムの案内があった。11月2日（木）

堤下校長 次年度学校パンフレット

修成祭 11月3日（祝・金）参加依頼

卒業展来校依頼

□次回開催日について

日時：令和6年2月13日（火）18時

場所：修成建設専門学校

以上

（記録・文責：谷川博康、見邨佳朗）